

力サゴ2千尾放流

親子船釣り体験教室も

日釣振神奈川県支部

(山口充支部長) では、

七月二十六日(日)に稚

魚放流を、八月七日(金)

に

それ実施した。

△力サゴ稚魚を放流

横須賀海辺つり公園で

開催された恒例の「青少

年・少女釣り大会」(主催

／全日本磯釣連盟神奈川

県支部)に合わせて、同

支部では大会に参加した

子どもたちによる力サゴ

の稚魚放流を行った。

放流に先立ち、(公財)神奈川県栽培漁業協会の今井利為専務理事から、力サゴは卵ではなく稚魚の姿で生まれてくることや、釣りの対象の大きさになるには数年が掛ることなどを学んだあと、真夏の日差しの下で、子どもたちは懸命にバケツリレーをしながら力サゴの稚魚一千尾を放流し、無

事に成長することを祈った。

食いが浅く開始早々は苦戦を強いられたが、船長

の判断で最後に入ったボ

イントでは、25cmを超える大型のシロギスも釣れ

上がり、全員が大満足の

釣果に恵まれ、沖上り

の時刻を迎えた。

下船後は、釣魚料理研

究家の石井ちか江さん

によるシロギスやメゴチの

調理で最後に入った示

る。同支部では、今後も船

釣り入門者を対象とした

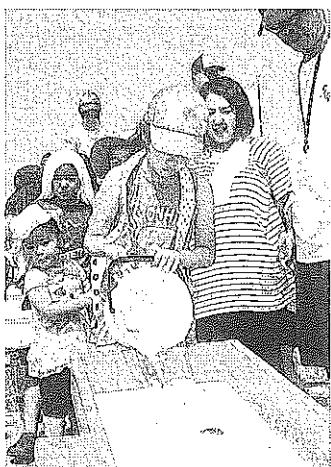
釣り体験教室を九月、十

月、十一月にも計画して

いる。

さばき方のレクチャーを受け、この日釣ったばかりのシロギスのお刺身を賞味して解散となつた。

同支部では、今後も船釣り入門者を対象とした釣り体験教室を九月、十月、十一月にも計画している。



ちびっ子が力サゴを放流



好釣果にご満悦の教室参加親子

神奈川県栽培漁業協会の今井利為専務理事から、力サゴは卵ではなく稚魚の姿で生まれてくることや、釣りの対象の大きさになるには数年が掛ることなどを学んだあと、真夏の日差しの下で、子どもたちは懸命にバケツリレーをしながら力サゴの稚魚一千尾を放流し、無